

女性の出産後労働状況の地域差について

1190452 川村 文士

高知工科大学経済・マネジメント学群

1. 概要

近年、女性の社会進出が進んでいる中で、出産を機に仕事を続けるか否かの選択という壁がある。そこで本研究では、女性の年齢別労働力率のM字カーブの地域差を調べ、上位下位三県の女性の再就職型又は就業継続型の取り組みの数を調べることで、M字カーブと取り組みの数の関係性を明らかにしようとした。結果として、最も差の大きかった県が一番取り組み多いという、仮説と反する形となった。

2. 背景

出産を機に仕事を続けるか否かについての全体のデータが、先行研究で得られている。内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(2004年11月)によれば、女性が職業を持つことと出産・育児の関係について、「女性は職業を持たないほうが良い」と回答した人の割合が2.7%、「結婚するまでは職業を持つほうが良い」が6.7%、「子供を持つまでは、職業を持ったほうが良い」が10.2%、「子供ができて、ずっと職業を続けるほうが良い」(就業継続型)が40.4%、「子供ができたらか職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうが良い」(再就職型)が34.9%であった(図1-1)。

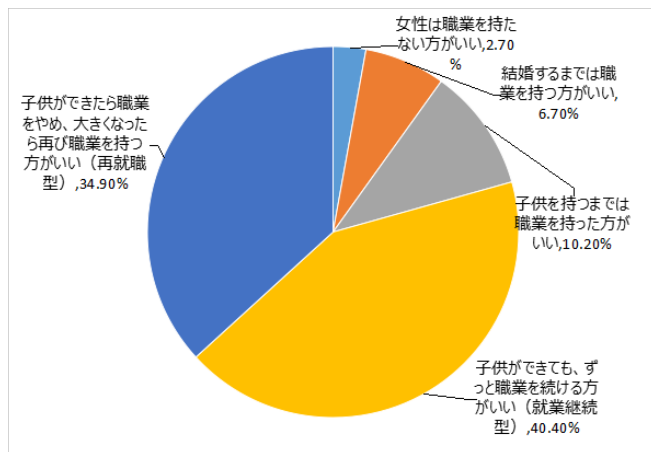


図1-1 男女共同参画社会に関する世論調査

就業継続型が再就職型を上回り最多数である。1992年の調査では就業継続型を選択した人は23.4%であったことを考えると、社会の意識は就労と出産・育児の両立を肯定する方向へ

急速に変化していると考えられる。1992年から2004年の間にその傾向は加速し、就業継続型はおよそ倍増し、再就職型と入れ替わるに至った。就業継続型を希望する割合が倍増しているにも関わらず、日本では女性労働力率を年齢別にプロットすると現在もなおM字型を呈していることには変わりはない。これは結婚・出産を機に仕事を辞め、その後育児が安定してきた後に再就職する人がいるからである。

3. 目的

本研究は、女性のM字カーブとそれに関する取り組みの数を調べることで、その関係性を明らかにしより効率的な取り組みの在り方を提言することが目的である。

4. 仮説

本研究では、女性の年齢別労働力率におけるM字カーブの差が深いほど、すなわち女性が出産を機に仕事を辞めているほど、その都道府県の取り組みが少ないのではないかと、という仮説を立てた。

5. 研究方法

本研究では、女性の年齢別、都道府県別の労働力率を調べ、それをもとに最もM字カーブの深い都道府県三つと最もM字カーブの浅い都道府県三つを算出し、それら六つのそれぞれの女性の再就職型・就業継続型の政策をインターネットで調べる。なお本研究でのM字カーブの深さは結婚・出産前の20代における最も大きい値と再就職までの30代における最も小さい値を比較したものである。

6 結果

6.1 女性の年齢別・都道府県別労働力率

国勢調査の平成27年就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)より、女性の年齢別、都道府県別の労働力率が得られた(図6.1-1)。

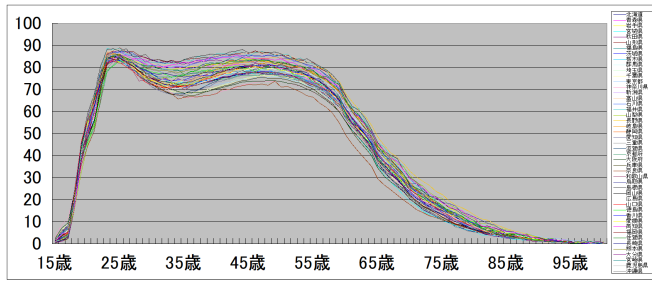


図 6.1-1 女性の年齢別・都道府県別労働力率（2015年）

この図を見ると、初期の上がり方にはどの都道府県にも大きな差は見られないが、M字カーブの下がり方には大きな差が見られ、女性の支援政策の差が伺える。

6.2 M字カーブの深い・浅い都道府県

前述のグラフを基に、それぞれの都道府県のM字カーブの深さを比較した（図 6.2-1）。

山梨県	85.57169	73.66684	11.90485
香川県	85.8503	73.80903	12.04127
山口県	82.80308	70.75443	12.04865
茨城県	83.23358	71.07946	12.15412
栃木県	83.89621	71.68452	12.21169
北海道	83.22125	70.84766	12.37359
京都府	84.2128	71.82617	12.38663
福岡県	83.84084	71.44287	12.39797
岡山県	85.02077	72.31376	12.70701
愛媛県	84.65567	71.61217	13.0435
広島県	84.15211	70.54347	13.60864
長野県	86.3151	72.34777	13.96733
和歌山県	84.0359	69.9384	14.0975
三重県	86.55751	71.6721	14.88541
岐阜県	86.06334	70.79237	15.27097
静岡県	86.74465	71.08643	15.65822
東京都	87.43566	71.70129	15.73437
大阪府	84.12581	68.32696	15.79885
兵庫県	83.87747	67.06977	16.8077
千葉県	85.59472	68.25277	17.34195
滋賀県	85.45184	67.78661	17.66523
埼玉県	85.31488	67.55397	17.76091
愛知県	85.85868	67.35087	18.50781
奈良県	84.5119	65.72736	18.78454
神奈川県	86.30288	66.08664	20.21624

図 6.2-1 都道府県別の M 字カーブの差（昇順）

M字カーブが深かった上位三つは上から神奈川県（20.21624）、奈良県（18.78454）、愛知県（18.50781）であり、浅かった下位三つは下から青森県（5.33634）、岩手県（5.56975）、高知県（5.78934）である。

6.3 M字カーブの深い・浅い都道府県三つの取り組みの数

M字カーブの深い・浅い都道府県三つの再就職・就業継続型の取り組みの数を調べてみると、神奈川県が三つ、奈良県が二つ、愛知県が一つ、青森県が二つ、岩手県は一つ、高知県が一つであった。

6.3.1 神奈川県の取り組み

	最大	最小	差
青森県	84.95982	79.62348	5.33634
岩手県	84.72917	79.15942	5.56975
高知県	85.37118	79.58184	5.78934
秋田県	87.17105	81.30966	5.86139
鳥取県	87.40509	81.5231	5.88199
沖縄県	83.03773	76.98267	6.05506
島根県	88.61502	82.28141	6.33361
山形県	88.95808	82.51688	6.4412
新潟県	87.476	80.57305	6.90295
宮崎県	85.59145	78.46232	7.12913
石川県	86.98299	79.82548	7.15751
福井県	88.77147	81.5266	7.24487
徳島県	83.06424	75.52056	7.54368
熊本県	85.49282	77.86187	7.63095
富山県	88.73239	80.97049	7.7619
佐賀県	85.84746	76.8862	8.96126
福島県	85.17241	75.70083	9.47158
長崎県	85.42639	75.75758	9.66881
大分県	84.81906	73.89785	10.92121
群馬県	84.4113	73.43504	10.97626
宮城県	83.7691	72.7755	10.9936
鹿児島県	85.76701	73.93665	11.83036

神奈川県の新就職・就業継続型の取り組みは以下の三つである。

①マザーズハローワーク横浜…子育て中の女性が子供連れでも仕事探しができるように、ベビーカーでも入れるレイアウトにしたハローワーク。以下のメニューがある。

1、専門のカウンセラーが、予約制・担当者制により職業相談・職業紹介まで一貫したサポート。

2、仕事と子育てが両立しやすい求人情報を提供（全国ネットワークの求人検索パソコン 16 台）。

3、保育園等の情報提供、子育てアドバイスにも応じている。

4、面接対策や応募書類の添削を受けて、“就職力”を高める。

5、就職支援セミナーでは、他の方たちの就職活動の様子が分かる。

（就業継続、再就職型）

②応援します！ワーキングマザー…働く女性が、子どもを生み育てながら、職場で理解され協力を得られて、よい人間関係の中で安心して働き続けることができるように、神奈川県では以下のサービスを実施している。

1、ワーキングマザー両立応援カウンセリング

子どもを生み育てながら働き続ける女性が抱える不安や悩みに専門の女性カウンセラーが応える。

2、女性のための労働相談

女性職員または女性弁護士が個室で、妊娠・出産に伴う解雇、退職やセクハラなどの女性が職場で直面する様々なトラブル等について、相談に応じる。

3、キャリアカウンセリング

「結婚・出産しても働き続けたいけれど、この先の自分のキャリアはどう考えていけばいいの？」等の悩みや不安を抱えている人に対し、女性カウンセラーが相談を受ける。

4、両立応援セミナー

働く女性が子どもを産み育てながら、職場で理解され協力を得られて、良い人間関係の中で安心して働き続ける事ができる。そんな働き方のノウハウを身につけてもらうために、両立応援セミナーを実施する。

5、「働くママ・プレママのための両立応援ブック」

仕事と子育ての両立に頑張っている女性のための、応援情報やアドバイスなどを掲載した冊子を作成、妊娠前から職場復帰までの各段階に職場や家庭での対応や、活用できる法制

度を紹介する。

（就業継続型）

③両立支援等助成金

労働者の職業生活と家庭生活の両立支援や女性の活躍推進に取り組む事業主や事業主団体に対して支給する助成金。

（就業継続型）

6.3.2 奈良県の取り組み

奈良県の再就職・就業継続型の取り組みは、以下の二つである。

①育児休業給付金の給付率が下がった後、企業側が上乗せ支給する場合は、県がその分を助成。企業に対し、育児休業の取得推奨と雇用継続を呼びかけることで、女性の就業率や出生率の改善を図る。（再就職型）

②奈良県子ども・子育て応援プランより職場生活と家庭生活との両立の推進

1、多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

短時間労働や在宅勤務など、個人のライフスタイルに応じた多様な働き方を自由に選べるような社会になるための意識の醸成を図り、仕事優先の働き方を見直し、すべての人が仕事と家庭・子育てのバランスがとれるよう環境整備に取り組む、また男女が互いにその人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮することができるよう取り組む。

2、仕事と子育ての両立のための基盤整備等

市町村と連携し、待機児童の解消のため、保育所の整備を促進するとともに、放課後児童クラブ（学童保育）の設置促進・運営の充実、多様化する就労形態や保育ニーズに対応したサービスの提供を支援。また、育児休業期間中の生活の安定を図るなど、仕事と子育ての両立のための環境の整備を推進。

（就業継続型）

6.3.3 愛知県の取り組み

愛知県の再就職・就業継続型の取り組みは、以下のものである。

①あいち子育て女性再就職サポートセンターというサイトがあり、相談・カウンセリング、ワークショップ、職場実習、再就職相談会がある。（再就職型）

6.3.4 青森県の取り組み

青森県の再就職・就業継続型の取り組みは、以下のもので

ある。

①子育て女性の再就職支援…出産、育児等を機に退職したものの、働きたいと考えている女性たちの就職を支援するため、再就職支援セミナー、職場体験プログラム、マッチングイベント（就職合同説明会）及びカウンセリングを実施し、再就職に役立つ情報発信を行うことを通じて女性の就業促進を図る。（再就職型）

②両立支援等助成金

両立支援等助成金は、労働者の仕事と家庭（育児・介護）の両立支援や女性の活躍推進に取り組む事業者等を支援する制度。平成30年4月現在、この助成金には、次の6つのコースがある。

- 1、出生時両立支援コース
- 2、介護離職防止支援コース
- 3、育児休業等支援コース（育休取得時、職場復帰時、代替要員確保時、職場復帰後支援）
- 4、再雇用者評価処遇コース
- 5、女性活躍加速化コース
- 6、事業所内保育施設コース
（再就職型）

6.3.4 岩手県の取り組み

岩手県の再就職・就業継続型の取り組みは、以下のものである。

①両立支援等助成金

従業員の仕事と家庭の両立支援や、女性の活躍推進に取り組む事業者等を支援する制度

- 1、男性が育児休業を取得しやすい職場風土作りの取り組みを行い、男性に育児休業を取得させた場合
- 2、仕事と介護の両立に関する職場環境整備の取組を行った場合
- 3、育休復帰プランナーの支援を受け、育休復帰支援プランを作成・実施し、育休休業者を復帰させた場合（中小企業のみ）
- 4、育児休業者の代替社員を雇用した場合（中小企業のみ）
- 5、妊娠等又は介護を理由として退職した者が、就業可能になった時に復職できる再雇用制度を導入し、希望する者を採用した場合
（再就職型）

6.3.5 高知県の取り組み

高知県の再就職・就業継続型の取り組みは、以下のものである。

①子育て女性等に対する就職支援や、男女雇用機会均等法等の周知等により女性の積極的な社会参加を支援する。

1、「高知家の女性しごと応援室」と、ハローワークとの連携による就職支援

2、出産を機に退職した女性の再就職支援

3、「高知県次世代育成支援企業認証制度」及び「くるみん認証制度」のPRによる取り組みの促進

（就業継続、再就職型）

※高知県次世代育成支援企業認証制度とは、子育て支援に取り組む企業に対し認証されるもので、くるみん認証制度とは、事業主が、従業員の仕事と子育てを両立させることができるように、雇用環境の整備のための一般事業主行動計画を策定し、その計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たすことで認定されるもの。

6. まとめ

大きな差はないものの、最もM字カーブの深い神奈川県が、一番取り組みが多いという、仮説と反する結果となった。今後の課題としては、取り組みが上手く機能していない可能性があるということと、保育所の数や男性の育児休業取得率などの他の要因が関係しているかもしれない。

引用文献

“国勢調査 平成27年国勢調査 就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など） 表番号 00110 表題 労働力状態(8区分)、年齢(各歳)、男女別15歳以上人口及び労働力率(総数及び日本人)”

<https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003174621>

“これから働きたい女性のために - 神奈川県ホームページ”

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/z4r/josei/career.html>

“働き続けたい女性のために - 神奈川県ホームページ”

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/z4r/wm/index.html>

“両立支援助成金 | 神奈川労働局”

https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/koyou_kintou/hourei_seido/top-kintou/joseikin.html

“女性就業率「全国最下位」脱出せよ！奈良県、育休手当「上乘せ」企業応援 - 産経 WEST”

<https://www.sankei.com/west/news/140503/wst140503048-n1.html>

“(3) 職業生活と家庭生活との両立の推進/奈良県公式ホームページ”

<http://www.pref.nara.jp/43466.htm>

“働きたい女性を応援する あいち子育て女性再就職サポートセンター”

<https://famifure.pref.aichi.jp/womens-support/>

“女性の就活・定着支援 - 青森県庁ホームページ”

http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/job/jyousei_syukaku_teiyaaku_top.html

“両立支援等助成金について | 青森労働局”

https://jsite.mhlw.go.jp/aomori-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/koyou_kintou/hourei_seido/0401.html

“ 岩手県 - 両立支援等助成金のご案内”

<http://www.pref.iwate.jp/koyouroudou/roudou/015278.html>

“ 高知県・高知労働局”

<https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/var/rev0/0109/1515/201150415.pdf>

“次世代育成支援対策推進法 | 高知労働局”

https://jsite.mhlw.go.jp/kochi-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/koyou_kintou/jisedaihou.html